

令和5年度 信学会松本南幼稚園 「自己評価および園関係者評価」

1. 園の教育目標  
つながるう！ えがおいっぱい！ マンみ～なちゃん！
2. 本年度の重点目標  
(1) じぶんっていいな ともちっていいな  
(2) あそびをふかめよう  
(3) つたえあおう
3. 自己評価  
A…十分達成されている B…達成されている  
C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。</li> <li>・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。</li> </ul>	A B
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。</li> </ul>	A
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。</li> </ul>	A
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。</li> <li>・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。</li> </ul>	A A
研修（資質向上への取組）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。</li> <li>・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。</li> </ul>	A B
教育目標・園評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。</li> <li>・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。</li> <li>・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。</li> </ul>	A A
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。</li> <li>・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。</li> </ul>	A B
保護者・地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAや学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。</li> </ul>	A
子育て支援・預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。</li> <li>・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。</li> </ul>	B A
教育整備環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。</li> </ul>	A

4. 園関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・一斉保育ではなくて、コーナー保育のように子どもたちが個々の興味関心のある世界であそびに浸り込むのはとてもよい。自分で興味がある事を選んで追究させようとする保育の方向は素晴らしい。今後も個別最適な学びと協働的な学びの両面を大切にしていきたい。
- ・コーナー保育を実践するために環境をよく整えている。環境を意図的に作っているのはすごいこと。環境を整えることで子どもたちのあそびが学びになる。発想力が豊かになったり、人間関係が作られたりする。
- ・子どもたちに新しい必要な環境をどんどん増やしている。保護者にそれかもっと伝わるように、目的などをレーザーキッズで伝えるともっと理解が深まるのではないか。
- ・保護者間のつながりを作るために、未満児のどんぐり教室で保護者同士が語り合える場を多く作っているのは素晴らしい。同じ学年同士だけではなく、上の学年の保護者とも関わったり話が聞けたりする機会があるように。
- ・保護者間のつながり作りのために、月に数回ヨカ教室や英会話教室を開いて、気軽に来て横のつながりができる場を作ったかどうか。
- ・今年から始めたPTAボランティア活動はよかった。その中で親同士のつながりを作り、子育てのワンポイント等教え合うのはどうか。

## 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

12月に行った保護者アンケートによると98.5%という高い割合で子どもが安心して楽しく園に通えていると保護者に感じてもらっていた。その要因として本年度から重点的に行っているコーナー保育への取り組みが考えられる。

本年度はお部屋内でのコーナー保育や園庭でのコーナー保育に職員みんなでアイデアを出し合い工夫しながら取り組んできた。子どもたちだけでなく職員も主体的に魅力ある園づくりに取り組むことができた。その点は保護者の方々にもしっかり伝わっており、高い評価をいただくことができた。松本市保育課指導主事の松本先生からも、この興味関心に寄せたコーナー保育への取り組みは高く評価していただいた。

私立園である信学会松本南幼稚園は独自の特徴・強みを生み出していないといけない。今までの「ダイナミックな活動ができる園（協働的な学び）」に、今年度から取り組んでいるコーナー保育に代表されるような「一人ひとりの興味関心を伸ばす園（個別最適な学び）」という要素を加え、この二本柱でバランスよく保育しながら来年度園の強みを高めていきたい。その点についてモニター会参加者の方々からも同意を得られたことが大変ありがたく、これからの自信となった。

本年度は保護者負担の軽減にも取り組んできた。PTA活動を見直し、保護者全員が参加する作業などではなく、園が必要とするときに必要な人数に援助していただくボランティア制を取り入れた。また役員の負担感を軽減させるために、役員特典を考えて試行してきた。それらの取り組みが大変好評であったため、それをもとに来年度はさらに保護者負担軽減を進めていきたいと考えている。

本年度保護者と話をする中で「保護者同士がつながり合える場がなく、子育てで困ったことがあってもなかなか相談できる場がない」というお話を伺った。子どもたちを支える保護者同士のつながりを作ることが、子どもたちの健やかな成長にもつながると考え、本年度から未満児のどろんどろん教室で保護者と保育士が気楽に話し合える場を作ってきた。来年度は各お部屋や学年にもこの手法を広げ、保護者同士のつながりを生み出す場作りを実践していきたい。

## 松本南幼稚園 「職員による園の自己評価」

## 1. 園の教育目標

つながろう！ えがおいっぱい！ マンみ～なちゃん！

## 2. 本年度の重点目標

- (1)じぶんっつていいな ともちだっつていいな  
 (2)あそびをふかめよう  
 (3)つたえあおう

## 3. 自己評価(A～Dを、4点・3点・2点・1点とし、平均値を出しました。)

総合評定 A(3.3～4)…十分達成されている B(2.5～3.2)…達成されている

C(1.5～2.4)…取り組んでいるが、成果が十分でない D(1～1.4)…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	令和5年度 評価	令和4 年度
教育課程・指導	園は、目指している教育目標・本年度の重点目標を周知している。 教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	3.2 B	B
保健管理	日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	3.4 A	B
安全管理	事故やけが等、発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	3.2 B	B
組織運営	園長は、教育目標の達成に向け「ターゲット」を発揮し、職員をリードしている。 園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	3.5 A	A
研修(資質向上への取り組み)	法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。 日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	3.4 A	B
教育目標・園評価	幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。 保護者アンケートの実施と学校関係者委員会(モニター会)を設置している。 本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	3.5 A	A
情報提供	園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。 園の情報を広げ公開するために、ホームページ等を活用している。	3.0 B	B
保護者・地域住民との連携	PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で、定期的に懇談会を実施している。	3.8 A	A
子育て支援・預かり保育	地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。 保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	3.1 B	B
教育整備環境	子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	3.6 A	A
		3.0 B	B

## 4 園長より本年度の取り組みについて

(1) 全体的にはどの項目においてもおおよそ達成されている。「保護者・地域住民との連携」においては3.4ポイントと昨年度に比べて向上している。本年度から取り入れた行事などへの保護者ボランティアの取り組みが功を奏しているように感じる。

(2) 園目標の実現に力を入れてきた。「本年度の重点目標達成のための取り組みをしている」については昨年度より向上しており、職員みんなが園目標を実現しようとする気持ちは強くなってきたものと思われる。お部屋や園庭においてコーナー保育を実施し、子どもたちがあそび姿を思い浮かべながら教師自ら新しいあそび作りにチャレンジする姿が多く見られた。毎学期末に学年ごと園の重点目標に照らし合わせた振り返りを行っている。それを職員会議で発表し合うことにより、重点目標は幼稚園3年間を通して育んでいくべき力だということが共有できるようになってきた。

(3) 「情報提供」に関しては3.8という高い評価となった。レーザーキッズなどを活用して園の活動を動画で配信したり、今年度新たにインスタグラムを開設したことにより、より多くの人により詳しく園の活動を知っていただくことができたら。さらに内容を充実させていきたい。

(4) アンケート項目にはまだうまく現れてきていないが、本年度はコーナー保育の実施、園庭の遊びの改革、図書室の充実など、子どもたちの興味関心の幅を広げ、夢中になってそれぞれの遊びに没頭できるような工夫をしてきた。最も大切なことは、それらが職員一人ひとりのアイデアから生まれてきているという点である。園長が「このようにやれ」と言うのではなく、自らの力でより良い園に変えていこうという意欲が職員に生まれてきたことこそが本年度最も大きく成長した点ではないかと感じている。自分たちで園を作るのだから職員意識改革をさらに進めていきたい。